

**対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力  
「ハイゲート公立小学校校舎建築計画」  
引渡式**

2019年5月21日、セント・メアリー県において、対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力「ハイゲート公立小学校校舎建築計画」の引渡式が開催されました。

山崎大使は、本計画は、ジャマイカと日本のこれまでの協力を象徴する案件の一つであり、ジャマイカの教育分野の包括的な発展に協力でき嬉しいと述べ、草の根の事業を通じ、すべてのジャマイカの人々が、豊かで持続可能な社会を実現することを望むと述べました。また、日本では、3月と5月に子供たちの健やかな成長を祝う伝統行事があることを紹介し、今後もジャマイカの教育環境の向上に向けた協力を促進したいと強調しました。

ハイゲート公立小学校は、近年の児童数の急激な増加によって教室の収容人数を超えた過密状態での授業を強いられており、例えば、図書室を黒板で仕切って複数のクラスの授業が行われるなど、児童が授業に集中することが難しい状況が続いていました。

本計画によって新しい2教室が建築されたことで、同校の生徒数の過密問題は、大きく改善しました。

今般の引渡式には、被供与団体であるハイゲート小学校の代表、ガイ下院議員（セント・メアリー県中央地区選出）、国家教育基金等の教育関係者、学校関係者、報道関係者、地域住民代表などの来賓が出席しました。

被供与団体の代表は、同校のこれまでの歴史を振り返りつつ、同校の抱える困難を大きく改善することができたとして、日本の支援に深い感謝の意を述べました。ジャマイカ側を代表して挨拶したガイ下院議員は、本計画の署名式典にも立ち合い、今日ついに引渡式典を迎えることができ嬉しいと述べつつ、新しい教室の建築は、児童だけでなく保護者及び地域全体が裨益するとして、世代を超えて引き継がれる支援であり、末永く大切に使用するよう児童や全ての参加者に呼びかけました。



挨拶する山崎大使



挨拶するモレイス・ガイ下院議員（セント・メアリー県中央地区選出）



カーリーン・アレン・ハイゲート公立小学校校長



演劇を披露した児童代表



音楽と踊りで感謝を表した児童代表



式典に参加する関係者、児童代表



新教室のテープカット



教育省関係者、校長、児童代表と共に新しい教室で記念撮影



新教室外観



新教室内観